



報道関係各位

2017 年 11 月 2 日

工学院大学、VR 連動の地震動シミュレータ体験や講演会で“新宿ならではの防災”を推進！ 『防災 WEEK2017』11/6～実施

工学院大学(学長:佐藤 光史、所在地:東京都新宿区／八王子市)は、「防災 WEEK2017」を 11 月 6 日から新宿キャンパスで開催し、体験型イベントや講演会を行います。大学の建築学部と情報学部の専門性を生かしたエリア防災研究の取り組みの一つとして、新宿駅周辺防災対策協議会の中心となる新宿区が掲げる『新宿ならではの防災』を広く周知し、災害時の新宿駅周辺での混乱を防ぐことを目的としています。

【本件のポイント】

- 11 月 6 日から行われる工学院大学の新宿キャンパスを中心に行われる「防災 WEEK2017」では、“新宿ならではの”体験型イベントが充実。
- 工学院大学は包括連携の協定を結ぶ新宿区の防災方針立案に協力し、新宿駅周辺防災対策協議会のメンバーとしても地域に密着した活動が 10 年目を迎える。
- エリア防災の取り組みが文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択(2016 年)を機に加速、地域連携防災訓練や災害時の支援機器開発を行っている。

【本件の概要】

新宿駅西口地域にキャンパスを構える工学院大学は、災害時には西口現地本部となり、新宿区災害対策本部と連携して、地域の混乱防止と応急活動を支援する役割を担います。2011 年東日本大震災時での新宿駅周辺地域が大量の帰宅困難者で混乱したことなど、様々な課題解決をエリア防災の視点から新宿駅周辺防災対策協議会を中心とした地域全体で取り組んでいます。



『新宿ならではの防災』ポスター

11 月 6 日から始まる「防災 WEEK2017」では、『新宿ならではの防災』とテーマを強く打ち出し、駅周辺の事業者・勤務者・買い物などで訪れる方に対して、実際に災害が起きた際の混乱防止を目的に、体験型イベントや講習会、企画展示を開催します。体験型イベントでは、VR カメラを装着し専用の椅子に座ることで、地震動を体験できる装置などが体験できます。また、周辺地域の連携を生かし、『新宿ならではの防災』のメッセージを新宿駅周辺の様々な大型ビジョンを利用して周知する取り組みも行われ、大阪などの他地域からも注目されています。

これらのエリア防災の取り組みは、2016 年の文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」採択を受けてさらに加速しており、大学の建築学部と情報学部の専門性を生かした実証実験や防災活動を支援するツール群の開発を行っています。

「防災 WEEK2017」の主なイベント ※詳細は別紙参照。

期間	2017 年 11 月 6 日(月)～22 日(水) ※入場無料、入退場自由、予約不要	
会場	工学院大学(体験型イベント、講演会、企画展示)／新宿調理師専門学校(体験型イベント)	
イベント	11/6(月)	体験型イベント「“新宿ならではの”防災コミュニケーションツール」10:00-17:00 講演会「長周期地震動関連の社会動向」久田嘉章 建築学部教授 16:00-18:00
	11/8(水)	西口地域地震防災訓練 <自衛消防・現地本部訓練>
	11/17(金)	体験型イベント「“新宿ならではの”炊き出し」新宿調理師専門学校玄関前 11:30-13:00

<取材に関するお問い合わせ>

学校法人工学院大学 総合企画部広報課 担当:堀口・松本
TEL: 03-3340-1498 / e-mail: gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp

プログラム

【体験型イベント】

① “新宿ならでは” 炊き出し

新宿駅周辺はオフィスだけでなく商業施設や専門学校など、いざという時に「食」の観点から活動ができる方々がいらっしやいます。今回は学校法人新宿学園新宿調理師専門学校の協力を得て、備蓄品（東京都提供）を活用した炊き出しを行います！

実施期間：11月17日（金）11:30～13:00（提供予定食数配布次第終了）

提供食数：300 食（予定）

実施場所：学校法人新宿学園 新宿調理師専門学校 玄関前

② “新宿ならではの” 防災コミュニケーションツール

新宿駅周辺には、防災に役立つノウハウやツールを持った企業・大学が数多くあります。今回は、ドローンや携帯端末アプリ、VRと連動する地震動シミュレーターなどのコミュニケーションを活性化する最先端のツールや活用手法を紹介します。皆さんで、実際に体験してみましょう！

実施期間：11月6日（月） 10：00～17：00

実施場所：工学院大学新宿キャンパス1階 アトリウム

$$- [x = y -]$$

- ・アルファ米3種類プレート
- ・乾パン・チョコチップパン添え
- ・野菜たっぷりのけんちん汁

※メニューは予告なく変更される場合も
ございますので、ご了承ください。



【講演会】

① 長周期地震動関連の社会動向

長周期地震動による高層ビル被害と対策、気象庁の長周期地震動予報など、最新の災害対策・被害予測の動向について学びます。

実施日時：11月6日(月) 16:00～18:00

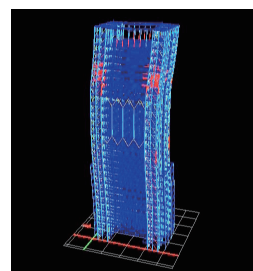
実施場所：工学院大学新宿キャンパス 高層棟 6 階 A0611 教室

講 師：久田嘉章氏（工学院大学建築学部教授）

「長周期地震動による高層ビル被害と対策」

気象庁地震火山部（講師調整中）

「知っていますか？長周期地震動階級～高層ビルに活かす地震防災情報～」



② 阪神・淡路大震災における災害医療の実体験を通して

阪神・淡路大震災を淡路病院で経験された講師から、当時の映像や記録を紹介頂き災害医療の実体験と普及活動の取組み方を学びます。一般市民の災害医療に対する理解を深めるとともに、事業者や地域ができることを考えたいと思います。

実施日時：11月22日（水） 15:00～17:00

実施場所：工学院大学新宿キャンパス 28階 第1・第2会議室

講 師：水谷和郎 氏

(神戸百年記念病院心臓大血管疾患リハビリテーションセンター長 兼 内科部長)



【企画展示】

協議会活動の 10 年 - そしてこれから -

新宿駅周辺防災対策協議会の活動も10年を迎えます。

この展示会ではこれまでの活動を振り返ると共に、地元企業等の CSR 活動・防災活動等を紹介します。

実施期間：11月6日(月)～16日(木)

実施場所：工学院大学新宿キャンパス1階 アトリウム

スケジュール MAP

	11/6	11/7	11/8	11/9	・・・	11/16	11/17	・・・	11/22
協議会 訓練			西口訓練			東口訓練			
体験型 イベント	防災 ツール 体験						炊き出し		
講演会	長周期 講演会								災害医療 講演会
企画展示	協議会の10年展								

【協力】

東京都・新宿区

学校法人新宿学園新宿調理師専門学校

学校法人工学院大学

一般社団法人新宿区医師会

本プログラムは私立大学研究ブランディング事業「巨大都市・複合災害に対する建築・情報学融合によるエリア防災活動支援技術の開発と社会実装」と連携して実施しています。